

2020年6月10日
沖縄電力株式会社

「吉の浦-牧港ガス導管（仮称）」の敷設について

当社は、天然ガスの普及拡大を目的に、吉の浦火力発電所（中城村）から宜野湾市の西普天間地域を通り、浦添市に至るガス導管を整備することを決定しましたのでお知らせいたします。

当該ガス導管の敷設により、お客さま側でのサテライト設備への投資が不要となることから、沖縄本島中央部において、より幅広いお客さまにクリーンで価格安定性に優れた天然ガスをご利用いただける環境が整備されることとなります。

また将来的には、他エネルギー事業者との連携により一般家庭においても都市ガスのご利用ができるようになるなど、本島中央部のエネルギー環境の向上につながることを期待されます。

今後、地域の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力を賜りながら、安全および環境保全に配慮したガス導管敷設を進め、エネルギーの安定供給と保安の確保に努めるとともに、多様化するお客さまニーズに応えられる「総合エネルギー事業者」として、引き続きお客さま・地域社会の発展に貢献してまいります。

以上

【設備の概要】

- (1) 供用開始：2023 年度予定
- (2) 設備仕様：圧力（高圧仕様）、口径（300 mm）、導管延長（約 14km）
- (3) 設備区間：

